

みなとのニュース

「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク in 稚内」を開催しました

稚内市 建設産業部 港湾空港課

令和4年10月6日(木)稚内市のサフィールホテル稚内において、道内では6年ぶりとなる「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会・シンポジウム」が開催されました。

総会には、北は北海道稚内市から南は島根県浜田市まで、日本海沿岸各地域の会員約50名が参加し、工藤 広稚内市長の歓迎挨拶の後、令和3年度の活動及び決算報告、令和4年度の事業計画・予算(案)、役員改選についての審議を行い承認されました。

総会に引き続き行われたシンポジウムには、会員のほか一般参加募集を行い、合計約80名が参加し、講演会では、コスタクルーズ日本・韓国支社営業本部長の小早川 隆信氏から「世界のクルーズ動向と日本海側港湾の可能性」をテーマとして日本海側港湾の長所

を生かしたクルーズの可能性について、株式会社ユーラスエナジーホールディングス国内事業第二部長兼稚内支店長兼札幌支店長の加藤 潤氏から「道北地域の風力発電事業の現状と稚内港の利用状況について」をテーマとして道北地域の風力発電事業における進捗状況等についてご講演いただき、日本海沿岸地域の可能性について考える機会として皆さん興味深く耳を傾けてらっしゃいました。

また、総会・シンポジウム開催に先立ってクルーズ船社との意見交換会が開催され、5つの自治体が参加し、コスタクルーズ日本・韓国支社営業本部長の小早川 隆信氏との間でクルーズ船誘致に関して活発なPR、意見交換が行われました。

総会・シンポジウム開催の翌日には開催地稚内市の各施設の現地見学会が実施され、北海道遺産及び土木学会選奨土木遺産に選定された稚内港北防波堤ドーム、日本最北端の地の碑が立つ宗谷岬、「宗谷丘陵の周氷河地形」として北海道遺産に選定され、最北の風力発電施設がある宗谷丘陵の見学が行われました。

稚内市にお越しいただき、ありがとうございました。来年度は島根県浜田市での開催となります。



工藤市長



コスタクルーズ 小早川氏



ユーラスエナジー 加藤氏



現地見学会(稚内港北防波堤ドーム)